

NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安 美紀 【発行日】2022. 4. 20(通巻第 19 号)
【HP】<https://asian-kids-care.com/> 【E-mail】kids@asian-kids-care.com 【団体設立】2004. 2. 11 【法人設立】2011. 9. 13
【TEL】090-5912-4515(事務局長:喜安) 【郵便振替】口座番号: 01600-5-13009、口座名義: NPO法人アジアキッズケア
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:NPO法人 アジアキッズケア

SDG s (持続可能な開発目標)は、2015 年に国連のサミットで世界のリーダーによって決められた目標で、「2030 年までに達成すべき 17 目標」が掲げられています。これまでも類似目標がありました。今までと違うのは、先進国主体ではなく、途上国を含め『全ての国が当事者意識を持って取り組むべきもの』にしたことです。

子供支援活動の当事者で主役は、子供です。だから、当団体では支援活動の中心に子供を位置付けています。

尊敬するリンカーンの言葉をもとに『Support of the children, by the children, for the children(子供たちの、子供たちによる、子供たちのための支援)』をキャッチフレーズに取り組んでいます。当団体が実施する荷造りボランティアは、参加者の 8 割以上が子供や若者で、主体的に支援物資を収集・持参してくださっています。

2022. 4. 20

NPO法人アジアキッズケア 代表:喜安 美紀、事務局長:喜安 勝也

フィリピンとブータンに送る荷造りボランティア … 当事者の現地の方も参加

困っている人々を助けようとするまごころは、国境や全ての違いを越えて、プレゼントと一緒に現地に届きます。それは、受け取る子供、支援物資を収集・荷造りした人の双方の心を温かく包んで笑顔にします。

当団体は、現地キーパーソンを主体に「自国の子供たちは、自分たちの手でサポートして自立を進める」自立の支援を目指しており、現地事務所や派遣職員を置かず、自国の支援チームがその役割を無償で担っています。



12 月に実施したブータンに送る荷造りでは、現地から来日したレキさんと一緒に行きました。母国紹介の中で、「日本こそ、幸せの国ではありませんか？」の問いにみんな真剣モード。日本は、ガス・水道・電気設備があり、病院・学校・商店等も近くにあって便利で豊かな国。ブータンは貧しく、子供も毎日手伝いをして家族を助け、感謝して暮らすそうです。日本の日常が当たり前でないことの気づきと感謝を教えてくださいました。

10 月のフィリピンに送る荷造りでは、同じく現地から来日したアルマさん家族と一緒に梱包。コロナ禍で生活・教育環境が困難な人々に、クリスマス・プレゼントとして現地協力者と連携してまごころ込めて手渡します。

アルマさんの「ボランティアの皆さんの善意と思いやりをととても嬉しく思います。私はフィリピン人を代表して皆さんに心から感謝します。本当にありがとうございます!!」の言葉に、みんながほっこり笑顔になりました。

荷造りボランティアを継続 18 年 … 支援物資は 17 か国に 1,126 箱を発送

世界中のコロナ禍の中、この 1 年間、支援物資(衣類、文房具、楽器、日用品等)を次のように発送・配布しました。

- ・2021. 6 ブータン、バングラデシュ、スリ Lanka(9)
- ・2021. 8 インド(6)
- ・2021. 10 フィリピン(大4)
- ・2022. 1 ブータン(6)
- ・2022. 3 マリ、バングラデシュ(7)
- ・2022. 4 フィリピン(大4)

※支援物資の送付実績 1,126箱、送料経費総額 7,216,971円 (2022. 4 現在)

<支援物資のご提供をお願いします> ※私たちのまごころを添え「ハンド to ハンド」で届けます

支援物資として、夏物衣類(子供~大人用:Tシャツ・ジーンズ・体操服等)、文房具(ノート類、筆記具、消しゴム、定規等)、楽器(ピアノカ等)、通学用バッグ、バスケット・サッカーボール等のご提供をお願いします。

※夏物衣類は洗濯して汚れやほころびのない物。金属類・冬物衣類は現在受入れ不可です。

フィリピンでの食材等の配布 … みんなに幸せと平和が訪れ、笑顔になるように

フィリピン支援は、ミンダナオ島から愛媛大学大学院に留学してきたエドワード氏(現国立ミンダナオ大学農学部部長)との連携により、2010年から彼の義兄のアウレリオ氏(サランガニ州教育委員会スーパーバイザー)とともに、彼が住む貧村の学校に行くことが困難な子供たち(現地の子供の約3割)や地域の人々をサポートしています。

現地では、コロナ禍によりロックダウン発令により、交通移動・集会・買い物等の制限がなされ、人々は「生きる・食べる」ことが困難になり、私たちは緊急に食糧支援を数回行い、現地の方々に喜んでいただきました。



インドでも同様に信頼する現地協力者とともに、ニーズや困り感に寄り添いながら、支援を撤退することなく、貧しい子供たちへの支援活動が継続されています。また、ウクライナの平和と救済のために、日本赤十字社「ウクライナ人道危機救援金」に募金の協力をさせていただきました。世界の平和を心から願っております。

子ども食堂を開催 … 孤立・困っている子供と家族、高齢者、外国人等の皆様へ

「ハレルヤ子ども食堂」を毎月開催。高齢のボランティアの方々が、手作りの食事をまごころ込めて調理し提供しています。楽しいレク(紙芝居等)でみんなが笑顔になり、心の休まる温かい居場所になっています。子供と家族、高齢者、外国人の方々、どなたでも大歓迎です(会食の他、お持ち帰りもOK)。子供たちが、元気で、心優しく、大きく成長することを願っています。また、外出が困難な方にはご家庭に食事等を届けています。

○日時：毎月第2・4土曜日 11:00~13:00 ○参加費：子供無料、大人200円(後期高齢者は無料)

○会場：松山福音センター(松山市平和通1丁目6-6、TEL089-925-1008) ※駐車場有、コロナ対策をして実施



<荷造りボランティアに参加してみませんか> ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止する場合があります。

【実施日時】偶数月の第3日曜日：14時~16時 【実施場所】アジアキッズケア事務所・駐車場あり

小学生から大人まで参加し、留学生等による母国紹介、楽しい国際交流や国際支援活動の場になっています。

※できれば、支援物資(夏物衣類、文房具、ピアノカ、バッグ、バスケット・サッカーボール等)をご持参ください。

貧困の子供たちの夢と希望をつなぐ … 教育・生活サポート(毎月3000円)

貧困の子供たちが学校に行くために、教育・生活支援をしてくださる里親支援のサポーターを求めています。彼らの自立を実現することによって、家族、地域も支えることにつながります。私たちが目指しているのは、将来彼らが同じ境遇の子供を支える現地リーダーになって、支援を持続し繋いでいく後継者となることです。

フィリピン、インド、マラウイ、ケニアなどの子供たちに対して、信頼できる現地協力者とともに、彼らの夢と希望を実現し、就労・自立につながるサポート活動を行っています。※申し込みは、団体HPよりお願いします。